

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2021/10/28

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.29	0.07
JPY/THB	0.2925	0.0014
USD/JPY	113.83	-0.33
EUR/THB	38.62	0.09
EUR/USD	1.1603	0.0007
USD/CNH	6.394	0.015
SGD/THB	24.69	0.03
AUD/THB	25.03	0.11
USD/INR	75.03	0.07
USD Index	93.80	-0.15

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.180	-0.029
10Y (THB)	1.943	-0.025
5Y (USD)	1.150	-0.025
10Y (USD)	1.541	-0.067

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,797.9	5.2
WTI (Oil)	82.66	-1.99
Copper	9,548.0	-240.5

Stock

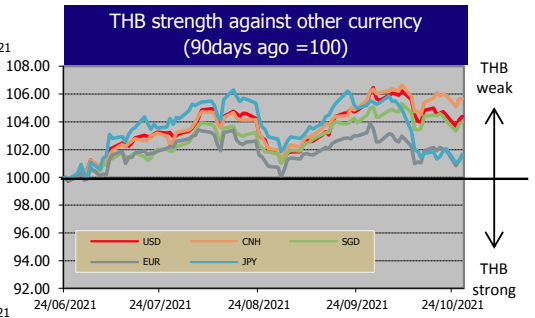
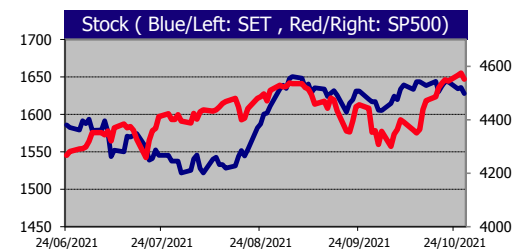
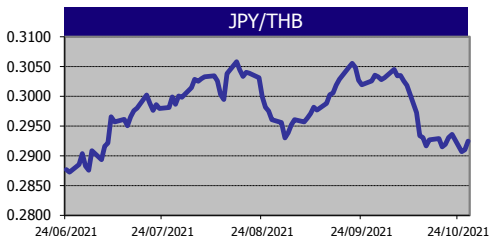
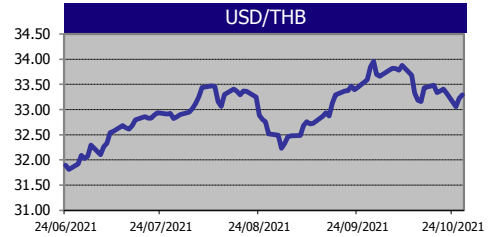
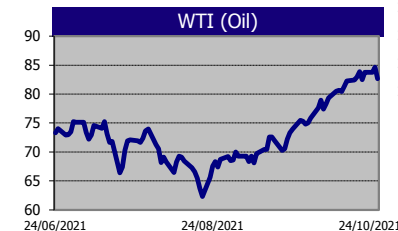
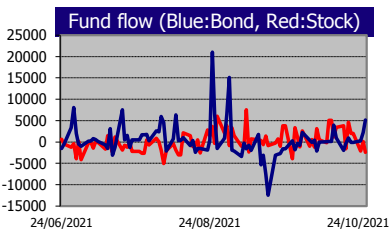
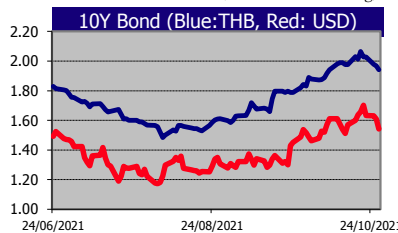
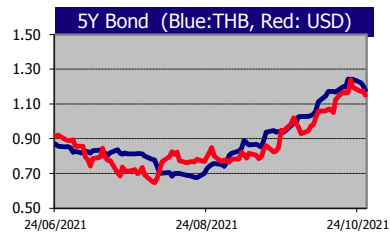
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,627.61	-8.36
NIKKEI (JP)	29,098.24	-7.77
DOW (US)	35,490.69	-266.19
S&P500 (US)	4,551.68	-23.11
SHCOMP (CN)	3,562.31	-35.33
DAX(GER)	15,705.81	-51.25

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,428)	-2507.9
Bond net flow	5,125	2898.0

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇。バンコク時間は33.15近辺でオープン。米国が中国の通信会社に対して米国内の通信免許を取消したことや中国当局が中国不動産企業の債務問題について創業者の担保提供を求めたこと等を受け、中国企業の業績不振懸念が強まり、人民元が下落。またこの日はオーストラリアの消費者物価指数が予想を上回り、豪金利が急騰したことに加え、カナダでは量的緩和縮小の前倒しを行ったこともあり、債券市場ではボラティルな展開。パーツは人民元の下落につれ安となり、ドルパーツは33.40近辺まで上昇するが、NY時間に米10年金利が大きく下落する展開に上げ幅を縮小させ、33.30近辺でクローズした。

●ドル円その他

昨日のドル円は下落。東京時間は114.20円近辺でオープン。月末SPOT日に当たることから実需のドル売りが強まる中、ドル円は下落基調を辿り、米金利が大きく下落する展開から海外時間には海外勢のドル売りが一段と加速。NY時間には一時、113.40円を割れるが、その後はやや値を戻し、113.780円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

ドル円相場は115円手前まで上昇した後、一旦調整しています。円パーツ相場も200日移動平均線29.10を下抜けしきれず、近辺での揉み合いとなっています。背景として金利上昇に一服感が出ていることが挙げられます。例えば米金利は2022年中2回の利上げを既に織り込み、タイパーツ金利も2022年中1回の利上げを既に織り込んだ水準まで上昇したため、目先見込める金利上昇幅が限定的になったということだと思えます。今後の注目材料は11月2日-3日に開催される米FOMCになります。テーパリング開始決定は規定路線として、インフレリスクに対する認識をどの様に示すかが注目されます。基本的には、インフレが予想より長引く可能性を示しつつも、テーパリングの先にある利上げについては急がない姿勢を示すものと予想します。問題は市場がどう反応するかですが、FRBのコミュニケーションが上手く行けば、先んじて相応に上昇している米金利が落ち着きを取り戻し、これまでの米ドル買いの動きに一服感が出ることになると思います。リスクシナリオは、FRBが後手を踏んでいる(behind the curve)と市場が感じた場合であり、長期金利を中心に一層の米金利上昇を招き、米ドル買いが再開されることとなります。パウエル議長によるコミュニケーションにはこれまで総じて安定感があるため過度の心配は不要と思いますが、一方で足元のインフレ要因が中央銀行の手が届きにくい供給側にあることを勘案すると、一定程度、リスクシナリオへの備えは必要と感ずります。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.